



岡村病院
院内報

歩 (あゆみ)

第 46 号

発行 岡村病院
編集 歩(あゆみ)
編集委員会
平成18年 5月10日

岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え
高度な専門医療技術をもって
地域社会に貢献することを目指します。



「をだまき」

高松内科クリニック
院長 高松 和永先生 写

花便り：芋環（をだまき）：今の季節に青紫の花が下向きに咲きます。花の形が糸巻の
一つの芋環に似ているのでこの名前があります。糸線草の別名があります。

今月のことば

自分をはげます言葉を心の内に持ちましょう。

目標を定め、計画を立てて努力していても、うまくいかない事は多々あります。また、毎日の生活の中で、思わぬトラブルに遭ったり、人間関係で悩むこともあるでしょう。

そういう時、自分をはげまし、応援してくれる人があったら、どんなに助かるか分かりません。しかし多くの場合、人の助けを当てにするわけにはいきません。大事なのは自分をはげます言葉を心の内に持つことです。

或るスポーツ選手は看病していた父が死に際に「やる

なら一流になれ、一流に・・・」と言った言葉を心の支えとして努力したと言っていました。

また、或る人は、「私の元気がでる言葉」として「朝ごとに生まれよ、私」と書いておられました。「一日一生」と考えて、毎日生まれ変わった気持で、日々新しい目標に向かい、明るく挑戦して行くことも大事な生き方ではないでしょうか。

医療トラブル

院長 岡村 高雄
(心臓血管外科)



最近、医療関係者に対するご不満、ご批判が多く、新聞、マスコミ、ニュース等で頻繁に取り上げられています。患者様の側に立つと「物がこんなに簡単に便利になった時代なのになぜ医療は不便なのか」「医療関係者の傲慢な態度が許せない」「なぜこんなに多くの医療ミスが起こるのか」等ご不満があるように思われます。また医療側に立てば「こんなに忙しく働いているのに、批判をされてはかなわない」「一生懸命しているのに直ぐに訴訟、裁判となる時代になってしまった」「医者が患者様から尊敬されない時代になった」等、不満が聞かれます。しかし、お互いに言い合いをしては信頼関係の構築は出来ません。お互いの不信感を言い合うのではなく、真摯に相手の言い分を聞くことも大切だと思います。

患者様の言い分

1. 「挨拶もしないし、診察の時も目を見て話さない」

ご指摘の如くもっともな話です。患者様が診察室に入られる時、入院される時などはカルテが作製されておりますので医療側は氏名、年齢、住所等多くの情報を既に入手している状態です。患者様側は稀にインターネット等でお調べになって来院をされる方もいらっしゃいますが、多くは何の情報もなく、不安を抱えて診察室に入って来られます。このような状態で医療側が名前を名乗らない、挨拶もしない、相手の顔も見ないのでは全く礼儀に反していると思います。このような医師は敬遠されても仕方がないのではないのでしょうか。

2. 「医学用語で話されて内容が良くわからない」

医療の世界は一般的に受け取る側と情報を送る側、つまり患者様側と医療側では情報のレベルが非常に違っています。お店で品物を買ったり、食事を注文する等の次元と異なり専門的な分野になりますから、ギャップが元々あって当然であります。しかし、このギャップを医療側が認識してお

らず、「なぜこんな事も解らないのか？当然この程度の知識はあるはずだ」というような先入観で患者様側を見ているために、平気で医学用語を使用し、話す内容が十分に伝わらない事態に陥ります。最も大切なことは、「診察や検査の説明等を患者様に理解していただき、さらにご納得いただくことが、治療をする為には非常に重要である」ということを医療側が十分理解し、その為に努力をすることです。近年、インフォームドコンセント（説明と納得）が強調されるあまり、全ての事を患者様に話をしておけば裁判や訴訟を免れると思ひ、些細な、あまり本質的でない事ばかりを医学用語で話すために肝心の重要な点が患者様に十分ご理解を頂けていないのではないかと危惧しております。

3. 「診察をしてもらえない」

患者様の話を聞き、検査をし、採血をして結果をお話しする事が基本的な診療の流れですが、医師の中には患者様の話を聞いただけでも、診察をしていると思っている医師もいます。過去の検査結果を話して終わってしまう事も場合によってはあるように思います。実際に患者様に触れずに検査、採血等だけで診療が終わってしまうと、患者様は診察を受けたと言う意識は希薄になります。過去の検査結果はあくまでも過去の検査であって、現在目の前に座っておられる患者様の状態を把握しているものではありません。以前は理学的所見（見る、触る、聴く）が医療では大切であると医学教育で教えられてきましたが、最近では検査、診断機器の進歩により、理学的所見を取ることの大切さが希薄になり、簡単に検査に終始してしまう傾向に陥りがちです。見る、触る、聴く（聴診器を使用する）等の簡単な事で患者様の多くの情報が得られますので、多くの医師は基本的な診療を大切にすることが必要と思います。

医師の言い分

1. 「私は特別だから何時でも直ぐに診察をしてくれ、何でも言う事を聞いてくれる」

患者様の中には自分は特別扱いをしてくれて当然と思われている方がいらっしゃるかもしれません。順番で診察をしていると「どうして早く診察をしてくれないのか」とか、少しお待たせをしてしまうと「長く待たせる」等のご不満を漏らされる患者様が稀にいらっしゃいます。体調が悪いからこそ病院にいらっしゃるわけで、公平に、順番どおり診させていただき、処置をさせていただくのはもちろん本意ではありますが、容態が非常に悪い患者様がいらっしゃる場合は、場合によってそちらを優先せざるを得ないことがあります。申し訳ありませんが、その旨をご理解いただけたらと思います。

2. 「自分自身で既に病名、治療を決めておられる患者様」

診察に来られた場合に既に病名を決めて、「これこれの治療をしてください」、「この薬を出してください」等ご自身で診断、治療を決めておられる患者様が稀に見受けられます。私どもは出来るだけ先入観の無い状態で患者様の診察をさせて頂き、最良の治療をしたいと何時も心がけています。しかし、先入観を持ってご自身で既に診断又は治療を決めていらっしゃると、我々の役割が無くなり、場合によっては不十分、又は間違った治療を行うこととなります。診療に対する最終的な責任は常に医師にあると考えていますので、このような患者様に対しては十分な診断、治療が行えない

事態に陥ります。患者様のご要望に対しては十分にお応えしたいと思っておりますが、一方的に決められたのでは医師側も困ってしまいます。

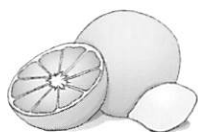
3. 「予約、予定を守っていただけない患者様」

私どもでは診療科によっては予約診察をさせていただいております。しかし、患者様によっては診察当日にキャンセルを平気でする方が見受けられます。予約が取れなくて別の日にご無理をして来院をされる方もいらっしゃいますので、特別な事情がない限り予約は守っていただき、他の患者様にご迷惑がかからないように御願いたいものです。

現在抱えている医療トラブルの多くの原因はコミュニケーションの不足、医師側の配慮の欠如に起因することは否定できません。医療の技術的進歩により医師は常に新しい知識、技術への対応を迫られています。医師の養成過程である大学においても、知識が優先され、技術優先の方向に傾きがちです。この為に患者様に対する「思いやり」「相手を尊敬し、敬う」「常に弱い側の立場に立って考える」等の基本的な考えが脆弱になりつつあります。医師は弱者に対する倫理観をしっかりと有することが不可欠だと思います。更に「医療の基本はコミュニケーション」であることを再認識する必要があります。それゆえに、最近では、医学教育の過程において現在の問題点を反省し、コミュニケーションを重要視する方向、医師としての倫理観の確立を求める教育に変わってきていますので、今後は医療トラブルが少なくなるのではないかと密かに期待をしております。

「グレープフルーツと薬」

薬局 小野 玲 香



グレープフルーツジュースを飲むと薬の作用が強くなる、なんて聞いたことがありますか？

グレープフルーツに含まれる「フラノクマリン」という成分が特定の薬物の代謝・排出を阻害するため、薬の血中濃度が上昇し、効果が増強された

り副作用が起きたりすると考えられています。そのため、ジュースでなくても果肉にも注意が必要です。

影響を受ける代表的な薬物が「Caブロッカー」といわれる降圧剤の一種です。

他にも高コレステロール血症治療剤や偏頭痛薬にも飲み合わせの良くないものがあります。

ではグレープフルーツ以外の柑橘類はどうでし

よう。バレンシアオレンジ、レモン、カボス、温州みかんにはフラノクマリンはほとんど含まれていないので、まず大丈夫といえます。

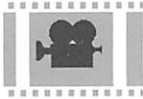
ザボン、土佐文旦、平戸文旦、スイーティーにはフラノクマリンが含まれており、副作用の現れる可能性があります。

土佐っ子にはなじみ深い土佐文旦。私も大好きな果物ですが、薬によっては我慢しなくてはけません。

薬との時間をあければ大丈夫、という意見もあ

りますが、薬によってはなんと、3~4日も増強効果が持続してしまうものもあります。

もちろん、影響の程度には個人差がありますので一概には言えませんが、思い当たることがあればぜひ一言ご相談ください。



～ 誕生日の映画 ～

ペンネーム N

ラッキーなことに映画チケットをいただき、自分の誕生日にちょうどお休みをいただいていたので、イオンへ映画を見に行きました。

朝、子供を保育園に預けその足でイオンへ。実は一人で映画を見に行くのは初めてだったので、少しドキドキしながら映画館へ足を踏み入れました。周りをご年配のご夫婦や若いカップルばかりで、平日に朝から若い年の女が一人で映画館は、はっきり言って周りから浮いていました。けれどせっかくのこのチケットを無駄にはしていないと1本目は「フライトプラン」、休憩入れずに2本目は「有頂天ホテル」と立て続けに席の予約をとりました。上映までかなり時間があつたため、計4時間弱の長丁場を乗り切る為にドーナツとお茶を買い込み、いざスクリーンへ。

「フライトプラン」はまさに母は強し!!という映画でした。ジョディ・フォスターがやや怖かったですが…(色んな意味で)。ビデオレンタル開始になったら女性の方は是非お勧めします。

「有頂天ホテル」はさすが三谷幸喜という感じで、クスクスという笑いのツボが至る所に散りばめられおもしろかったのですが、隣に座っていた中年の男性が『そんなに大笑いする程か?』と思うくらい始終大笑いしていたため、私の中の笑い所が半減してしまい残念でした。これはレンタル開始されたら家でじっくりまた見ようと思っています。

そんなこんなで色々ありましたが、こんなにゆっくりと仕事と家庭を忘れて映画を見ることもなかったので有意義な1日であったと思います。チケットを譲っていただいた方に感謝・感謝です。



～ 日曜日 ～

4F 病棟 看護助手

私は、時間がある時には日曜日へ買い物に行っています。天気がいい日などはすごく気持ちがいいです。新鮮な野菜、果物が並び光って見えます。店先に並ぶ物が変わる事で季節の移り変わりを感じる時もあります。

今だと、ふきのとうや葉ごぼう春の野菜が並び始めています。梅の花など桜なども並んで春の訪れを感じさせてくれます。この前もふきのとうを買って油炒めして砂糖醤油味にして食べました。

これは店の人に教えてもらいました。とても簡単にできる調理法を教えてくれるのでとても頼もしいです。

疲れた時など作って食べるとホッとできて心も体も休まる時があります。「食」ってとても大切だと思います。みなさんも是非足を運んで季節を感じてみて下さい。

おいしい物にも出会えますよ。

患者さんからのお便り 「老女のつぶやき」

匿名希望

老女のつぶやき……「有難い 勿体ない 今日も一日幸福でした。有難う。」こんな独り言を云い乍ら八十路にさしかかりました。

この度、全く予想もしなかった病気で当院でお世話になっています。頭は固く常識に乏しく頑固な老人、ずい分とご迷惑をおかけしていると思います。辛いだろうと思った病院生活も勿体ない極楽のような生活、こんな勿体ない毎日を過ごさして頂いて良いだろうかと思いつついつい甘えて……ご迷惑をおかけしています。今回入院させて頂いて驚いた事は「老人ホーム」ではないかと錯覚を致しました。この老人達は何を思っているのか「有難う。」を忘れているようです。「民主主義。」を思い違いしているのではないのでしょうか。朝夕廊下で会った方に「おはようございます。おやすみなさいませ。体調は如何ですか。」の挨拶が交わされるようになれば、ずい

分と病棟も和んでくると思います。勇気をだして一声運動を始めましょう。そして、何よりも大切な事は「感謝」の心ではないかと思えます。そして勇気を出して声を発して下さい。

お医者様、若い看護師さん多くの職員の皆様に昔では考えられない様な行き届いた看護と深い愛情を頂き乍ら「忘れ事」をしている老人達 自分を含めニクラシイ老人達 今一度考え直してみましょう。一日一日を感謝と反省の日々にと思えます。素直に「有難う。」が云えると世の中が明るく 楽しくなると思えます。世の中がこれ以上悪くならない様に老人が少しでもお手伝いになれるように善行は率先し、挨拶は気持良く、親切は進んで行いたいものです。云うは易く行は難しと申しますが、老人の皆様少しでも自分の為に人様に喜んで頂ける日々でありますように努めましょう。
合掌

お花と共に

光 井 幸

お花ほど人の心を和ませてくれるものはありません。陽の出前にガラス戸を開けると、もうオキザリス、アラゲツユクサ。夏から冬の初めまで毎日良く咲いてくれました。私の一日はお花の手入れから始まります。一鉢一鉢、声をかけ、お話が始まります。

ほとんど水遣りしなくてよいものにヨウラクツツアナナス、ゼラニウム、オーニングラム、キンギョバのシダ等があります。コエビソウ、アイビー、ツタキキョウ、又サルビヤも今年は冬を越して元気に育っています。香りも花もお気に入りのニオイマツリカ。

手がかからなくて、長く楽しめ、ひとりで種が落ちて翌年又花を咲かしてくれるお花、ヒメヒオオギ、トレニア（夏スマレ）。

次は月下美人のお話。木ばかり大きく花を付ける事を忘れ数年、新しいお家に越して環境が気に入ったのか毎年蕾みを沢山付けてくれる様になりました。葉脈の先にポツンと出来た蕾み、茎と共にだんだん大きくなり持ち応えられなくなって垂れ下がり、やがて満身の力を込めて弓なりに上を向き、間もなく白いお花を包んでいた薄紅の苞がほころび始め、夜の8時半頃からえも言われぬ、清く、気高く、神秘的な月下美人の開花です。私達を楽しませてくれる一夜の為に本当に御苦労様でした。



● ニューフェイス ●



森本 あかね さん
看護助手（4F病棟）
趣味：ドライブ



浜田 佐智子 さん
臨床検査技師
趣味：バレーボール、テニス
ピアノ、旅行、遊ぶこと



下木 真理 さん
准看護師（4F病棟）
趣味：スノーボード



栄枝 愛里沙 さん
臨床検査技師
趣味：買物



高垣 あゆみ さん
看護助手（4F病棟）
趣味：走ること

よろしく
お願いします。



RKC高知放送 生活情報番組「ごじでば」にて当院医師による健康アドバイスをしています。

“暮らしのミカタ”の「今日の健康」コーナーにて健康アドバイス及び健康相談を行います。

放送時間 第2・4金曜日 午後5:00～5:35

X線TV装置始動のお知らせ



旧装置老朽化につき、平成18年2月、当院2階X線TV室に「東芝製 遠隔操作式X線透視撮影台 winmind」を新規導入し、始動しております。バリウムを使用しての胃透視、肝・胆道系といった消化器系検査や、各関節の脱臼、骨折に伴う整復などの整形外科分野において積極的に活用されています。

血管造影装置導入のお知らせ



旧装置老朽化につき、当院2階心臓血管造影室に「シーメンス社製 シングルプレーン全身領域アンギオグラフィシステム AXIOM Artis FA」を新規導入致します。

高知県唯一の40列マルチスライスCTと共に、心臓・下肢血管をはじめ全身の検査、治療に十分な威力を発揮し、病気の早期発見・治療に重要な役割を担います。当装置の始動は平成18年5月中旬の予定です。